



☆ AWC事務局便り 5月号 ☆

緊急事態宣言の発令を受けて

いつも私たちの活動にご理解、ご協力をありがとうございます。
4月8日に緊急事態宣言が発令されましたが、皆さまはお変わりなくお過ごしのことと存じます。政府の要請に伴い、私たちが事務所としてお借りしている施設も閉まってしまったため、郵便物の受け取りなどができず、お礼状の発送などが遅れており皆様にご迷惑をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。

私たちは、こんな時こそ周りの人々のことをしっかり考えたいとの思いから、タイへの支援事業を行っております。一刻も早い収束を願い在宅勤務の中から事務局便りをお送りします。

スラムに支援品を届けました

タイでも2020年2月から多方面で問題が起こり始めています。
チェンマイ市内は外国人の入国は制限されており、生活必需品の販売以外は閉店命令が出ています。

観光客が入ってこなくなったため市内は閑散としているようです。

そんな中、日ごろ観光客相手の仕事（手工芸品の販売、観光客の写真を撮る、ゴミの処理等）をしているスラムの住人は収入がなくなり、生活がひっ迫してきました。一部の人たちは子ども達を連れて山の村に帰ることを選択しましたが、今年は数十年ぶりの大干ばつで野菜を育てることができず、また街に戻ってきました。必死に日雇い労働を探していますが、この状況下では仕事も見つからず、食料の調達もままならない状況です。無国籍の人々も多いために政府からの特別生活補助金の申請もできない状態だそうです。ストリートチルドレンのためのドロップインセンターも閉鎖を余儀なくされています。

私たちはこの様子を知り、スラムの人々に生活に必要な食糧を届けるために、3月30日（月）にチェンマイのアーサーパッタナーデック財団に送金し、4月1日（水）にはスラムの中でも、特に困窮している家庭に食糧の配布を行うことができました。届けたものは、米、麺、春雨、卵、油、ナンプラー、食パン、魚の缶詰、ロングライフ牛乳の他、手洗いのための石けん、シャンプー、子どものための栄養補助の飲み物などです。

仕事がなくなったことで、経済不安からのDVやストリートチルドレンの増加も心配です。

一方山の村の様子を聞いたところ、パーツキャオ村ではウィルスの蔓延を心配した村長の判断で、1月末から外部の人が村に入ることを止めているようです。自給自足の暮らしなので食糧などは心配がないとのことでした。

こんな状況の下、山の村も、まちのスラムも、現在のところ、私たちの協力先で感染者は一人も出ていないとの報告は嬉しい限りです。



さっそく購入した支援品



食糧が届いたスラムの人々

マリ代表のラジオ放送のお知らせ

マリ代表がTOKYO FM コミュニケーションズグループ/MUSIC BIRD系列より、全国へ配信している番組「2951（福来い）」の取材を受け、AWCの活動についてお話をしました。

この番組は各界で活躍しているグッドパーソンを取材している番組です。放送は5月17日（日）20時からで、マリ代表の出番は20時10分くらいからです。ラジオの簡単な聴き方のファイルも併せて添付します。全国でお聴きいただけます。是非お聴きください。